

## 福島は苦境をバネに頑張ります

3/11 東日本大震災によって私達の住む福島県は、巨大地震、大津波、原発事故、それに伴う風評被害と四重苦の中での生活を余儀なくされています。連日、マスコミで報道されていますように、福島第一原発周辺町や北東に延びる放射性雲の通り道となった「飯舘村」等の放射能汚染は確かに酷いものがあります。

福島県は岩手県に次ぐ全国で二番目に広い県で東西に200kmも幅がありますから、原発の影響を殆ど受けていない地域も広範囲に存在します(会津地方など)。私達の所在する福島市は原発から65km程のところであり、東側山間部の一部地域を除けば通常の生活には全く支障がない状況です。我が国には梅雨と台風がある為、自然の力で放射性物質が洗い流された事により、日が経つにつれ放射線濃度は低減しつつあります。

また、私どもが大会を開催する福島市国体記念体育館においては、原発から70km程離れている福島市西部地区に位置し、アリーナ内の放射線量は $0.06 \mu\text{Sv/h}$ と平常時の数値(0.04)とほぼ同じ数値であり、健康を害する数値は検出されておられません。

農作物等からも放射性物質は不検出(ND)が続いていますが、何分、風評被害によって県のあらゆる産業がダメージを受けているのはご存知の通りです。そのような中であって、テコンドーの火を消すまいと私どもは日夜頑張っているところですが、もし、私どもの主催する今大会に皆様のご協力、ご参加を頂ければこれ以上の喜びはありません。1人でも多くのご参加を希望致します。

### 福島県テコンドー協会

〒960-1102 福島市永井川字壇ノ腰 19-1 サンシードビル2階  
TEL 024-546-2522 FAX 024-546-2237

理事長 武田 正博(mobile 090-3123-7009)

# 立ち上がる 乗り越える 福島

## 第16回東日本オープンテコンドー選手権大会 実施要綱

- 1, 名 称 第16回東日本オープンテコンドー選手権大会
- 2, 主 催 福島県テコンドー協会・竹生会
- 3, 主 管 東日本オープンテコンドー選手権実行委員会
- 4, 後 援 福島県・福島市・福島中央テレビ・TUFテレビユー福島・福島民友新聞社  
(財)福島県体育協会・駐日韓国大使館 韓国文化院 (予定)
- 5, 期 日 平成23年11月20日(日) 午前9時開場 午後5時終了予定
- 6, 場 所 福島市国体記念体育館 サブアリーナ  
〒960-8166 福島市仁井田字西下川原41-1 TEL 024-539-5500  
東北自動車道福島西インターから車で7~8分  
・JR福島駅西口からタクシーで1,000円程度  
・JR福島駅東口 福島交通7番ターミナル西口經由土船行から国体記念体育館入口  
出発時刻 7:40 → 到着時刻 7:54 料金 大人 260円 (小人 130円)  
※このバスを逃すと次のバスは9:25発になります。乗り遅れないように気をつけてください。
- 7, 出場資格 テコンドーを修練する健康な小学生以上の一般男女で、WTF競技ルールを熟知し本大会要綱を遵守できる有級以上の者(白帯は不可)。国籍は問わない。
- 8, 開催種目 対練競技(キョルギ)・品勢(プムセ)の2部門。ジュニア(小・中学生)・一般(高校生以上)の男女。一般は選手権部門、新人戦部門、シニア部門(35歳以上・新設)に分ける。採点は電光掲示板、3審システムを採用する(減点3で失格となるローカルルールを採用)。トラブルがあった場合は、ジャッジペーパーシステムに切り替える。プムセは3審制(採点は出さない)。
- 9, 出場区分 ・小学生低学年(小1~3年)男子・女子部門・小学生高学年(小4~6年)男子・女子部門  
※小学生は体重のみで分けると体力差があり過ぎるので、低学年、高学年の体重制にし、更に上級・中級に分ける(選手の出場人数によって変更もあり得る)。

小学生部門(全学年とも体重区分は同じ)	
-20kg級	20kg以下
-23kg級	20~23kg
-26kg級	23~26kg
-30kg級	26~30kg
-34kg級	30~34kg
-38kg級	34~38kg
-42kg級	38~42kg
+42kg級	42kg以上

